看護学講義　呼吸器病態各論

Apr. 17, 2013

Case-1

45歳の女性。
もともと喘息の気があるといわれていた。
喫煙：5本/日、室内でネコ1匹飼育。
2日前に風邪を引いたあとからゼーゼーする。

外来にてネブライザーと点滴をしたが改善せず、入院となった。

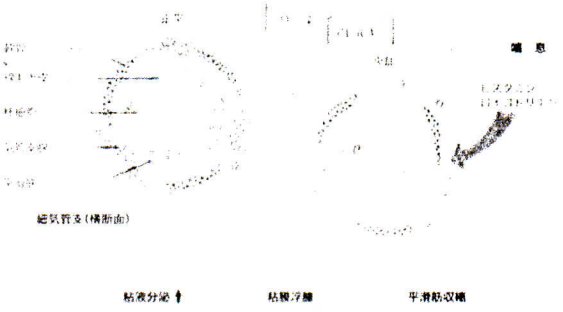
SpO2 88% (room air)

Case-1

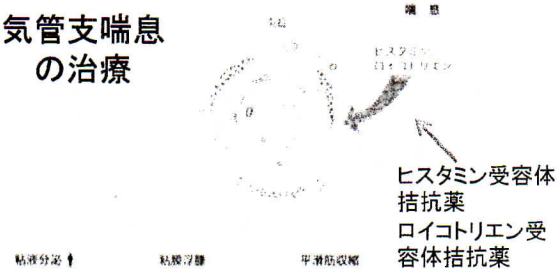
Q1. 気管支喘息とはどんな病気ですか？
気管支の粘膜がはれて、気道が狭くなり、呼吸がしずらくなる。
Q2. どんな治療が行われると思いますか？
ステロイド剤の投与，酸素投与.
Q3. どんな点に注意して看護を行いますか？

Q4. 退院支援として気にしたほうがいいことは？

気管支喘息



気管支喘息の治療



抗炎症薬
ステロイド剤

気管支拡張薬
β2刺激薬
テオフィリン

Case-2

83歳の男性。
以前から坂道で息切れを感じていた。
喫煙：40本/日。
5日前に風邪を引いたあとから息切れが強くなり、着替えるだけでも息苦しくなった。

外来にてネブライザーと点滴をしたが改善せず、入院となった。

SpO2 84% (room air)、BT 37.3℃